

賞 状

優秀賞

S1 チーム

脆弱性事例を通して得た現場で

セキュアプログラミングを実施する上での課題整理

S1チームは、セキュリティの脆弱性発見・分析ツールを活用したセキュアプログラミングを、現場で実践する際の難しさを整理する活動を行いました。

具体的には、多くのプロジェクトで実際に使われているオープンソースNode.jsにおけるバッファオーバーフローの脆弱性を調査するという実践に近い状況において、さまざまな脆弱性発見・分析ツールを使った実験を行いました。そして、セキュリティツールは専門家でも使いこなすのは難しく多くの現場で活用が進まない現状に対して、脆弱性箇所の絞り込みの難しさや脆弱性の発生の再現の難しさなど、これまで明確になっていなかった現場適用の難しさの要因が整理されました。これらの知見は、現場適用に向けたツールの利用ガイドラインや脆弱性を作りこ込まない開発プロセスへの改善につながります。以上を高く評価して優秀賞を与えることとします。

令和3年3月19日

国立情報学研究所 GRACE センター長
早稲田大学理工学術院 教授